

アナウンス部門

今年の春、ニューヨークフェスティバル2020にて、令和元年度デザイン科三年生が制作した「善通寺を舞台にした黒板アートによるアニメーション作品」が、広告賞学生部門においてファイナリストを受賞しました。善通寺は「黒板のまち」として親しまれており、毎年黒板アートを募る展示イベントも開催されています。

さて、そんな黒板ですが、実は十六世紀頃にヨーロッパで作られたもののだそうです。主に学校などの集団教授の場で使用され、十九世紀頃にチョークとともに世界に広まったそうです。

日本には、明治時代にアメリカから伝わり、学校以外にも、駅の伝言ボードなどの様々な場所と目的で使用されてきました。

十六世紀から地域を繋ぐ作品に使用された黒板には、まだまだ活躍する可能性が秘められていそうですね。